

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -5

4-
-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	見学ルートの作成・発信
節	. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	5 見学モデルルートの構築	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28 ~ H34	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】 世界遺産の構成資産内における適切な見学ルート(モデルコース)の構築により、来訪者への各構成資産の適切な理解を促す。</p> <p>【事業内容】 来訪者が理解しやすいストーリー作り、ストーリーに合わせた見学ルートの整備、見学ルートに係る情報提供、を実施する。 また、運用開始後も来訪者ニーズに合わせた更新を検討する。</p>		
⑨事業計画と実績	<p>【29年度計画】 見学ルート上に必要となるサイン設置箇所やサイン種別、デザイン案の検討を行い、サイン計画に内容を反映させる。 資産の公開・整備内容の方針を定めた史跡整備基本計画を2ヵ年(平成29~30年度)で策定し、その中でモデルコースを検討する。</p> <p>【29年度実績】 サイン計画の策定を行った。 モデルコースや活用方法を検討するため、その指針となる史跡整備基本計画の策定をすすめた。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 誘導サインの設置や国・県・市道、トイレ整備などの受入体制の整備を併せて行う必要があり、県・市の連携した取り組みが急務である。</p> <p>【今後の取組】 平成29年度に引き続き、史跡整備基本計画の策定作業を進める。 計画的にサイン設置を行うため、事業予算の確保に努める。 関係機関やガイド等の関係者と意見交換を行い、来訪者受入体制の整備とあわせ、魅力的なモデルコースの策定を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a ・ b ・ c)</p> <p>【事業実施の効果】 (a ・ b ・ c)</p> <p>【総合評価】 (A ・ B ・ C)</p> <p>計画どおりに事業がすすんでいることから、B評価とした。</p>		

a: 進んでいる。 高い。

b: 概ね順調。 概ね適切。

c: 遅れている。 低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。